

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の実施結果について

(円)

担当課	No.	事業名	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額			効果検証 (実施後、事業の概要①で記載されている効果が得られたか、どのような効果があったかなど)	
				交付金充当額	国県補助	一般財源		
総務課	1	庁舎内感染症対策環境整備事業	①感染拡大防止の観点から温度調節や換気機能を改善することで、職員の安心安全な職場環境を確保し、ひいては市民が安心して来庁することができるよう、職員間での感染症予防対策を講じることを目的に、庁舎内の倉庫等を兼ねた部屋を活用し、web会議の利用や、職員の感染が発生した際には、市の機能を維持しながら分散して業務執行が可能になるよう整備する。 ②空調工事、換気扇設置に係る経費 ③空調機等改修工事 3,200千円 ④職員	2,948,000	2,948,000	0	0	本事業により、職員が分散して業務遂行でき、WEB会議に利用した結果、職員間での感染拡大が抑えられたことで、クラスターの発生を防止することができた。
水産農林課	2	学校給食等における地元水産物活用支援事業	①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、地産地消の取り組みの一環として児童生徒に学校給食で市内で獲れる水産物を活用したメニューを提供することにより、子どもたちの魚食の推進を行い、アフターコロナ、ウィズコロナにおける需要の拡大など将来につなげるための地元水産物の消費拡大を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が低迷した事業者の支援を行う。 ②給食用地元食材の調達加工納品にかかる経費 ③市内小中学校、幼稚園、保育園への養殖マダイ等地元水産物調達加工納品 月2回程度 約19,400食分 ・委託料 4,668千円 ④水産関係事業者	4,620,767	4,620,767	0	0	市内小中学校、幼稚園、保育園、認定こども園の給食において、地元水産物(養殖マダイ、天然ブリ等)を活用したことで、コロナ禍において需要が低迷した地元業者の支援が図られた。市内小中学校、幼稚園、保育園、認定こども園では、給食に提供される水産物に関する知識などを給食だよりに掲載するなど、食育につながった。
水産農林課	3	漁業設備整備・機器更新事業補助金	①需要の落ち込みにより、影響を受けている漁業協同組合の経営する市の生産基盤の拠点となっている尾鷲魚市場へ、新型コロナウイルス感染症収束後の生産性向上・地域経済の構築への取り組みとして、漁業設備の整備・更新に係る費用の一部を補助する。 ②対象の設備整備更新支援に係る補助金経費 ③水槽(タンク)90,000円/個×50個=4,500,000円 魚種選別台 1台 300,000円 電子ばかり 1台 78,500円 トロ箱:2,040円/個×50個=102,000円 万丈籠:2,170円/個×50個=108,500円 トラッククレーン 1台 6,000,000円 ・補助金 11,089千円×補助率1/2=5,544,500円 ④三重外湾漁業協同組合尾鷲事業所	5,534,000	5,534,000	0	0	大漁時にも水槽が不足しなかったことで、作業時間の短縮、接触機会の解消による感染リスクの低減につながり、尾鷲魚市場の生産性向上・地域経済の構築に寄与した。
水産農林課	4	学校授業等における地元木材活用支援事業	①尾鷲市の代表的な建築材料である尾鷲ヒノキの良さを改めて確認しながら地産地消の取り組みの一環として、尾鷲ヒノキの木エキットを作成し、将来につなげるための経済対策を実施することで、地元木材の消費拡大を図り、新型コロナウイルス拡大により停滞している地元木材を利用することで、木材事業者の支援とする。 ②尾鷲ヒノキ等地元木材購入に係る経費 ③市内小中学校、幼稚園、保育園へ木エキット用の尾鷲ヒノキ購入費 各施設年1回 542セット分 2,000千円 ④林業関係事業者	1,446,500	1,446,500	0	0	市内小中学校・幼稚園・保育園・認定こども園を対象に地元産材である尾鷲ヒノキを活用した木工体験にて地元産材を活用することで、コロナ禍における木材利用の停滞した地元業者の支援が図られた。 市内小中学校・幼稚園・保育園・認定こども園では、尾鷲市の伝統的な尾鷲林業やそれを取り巻く自然環境について、授業を実施することで、森林・林業に関する知識(木育)を深める機会の創出につながった。 教育関係者からは、地元の木に触れる機会が増え改めて尾鷲ヒノキの良さを知ることができたと高評価をいただいた。保育園・認定こども園については、今までになかった子どもたちが感覚的に地元を知り地元に触れる体験として非常に好評で、今回の事業をきっかけに、継続事業として、次年度の予算化が図られた。また、今後の地元産材の消費拡大はもちろんであるが後継者対策としても期待したい。
商工観光課	5	尾鷲よいとスタンプ会事業補助金	①各商店街の活動が縮小されている現在、本市の商業を支える団体として尾鷲よいとスタンプ会が、スタンプ事業を中心として地域商業振興を実施している。今般のコロナ禍においても、事業が厳しい状況であるものの、本市の実施するプレミアム付商品券に合わせた「ポイント2倍事業」などを推進し実績を上げていることから、令和4年度において実施予定の同事業への補助を行うことにより、地域商業の振興を図る。 ②補助金にかかる経費 ③補助金 2,500千円×補助率1/2=1,250千円 ④尾鷲よいとスタンプ会	1,250,000	1,250,000	0	0	スタンプの発行実績は全店舗で2,500,000枚となり総額1億2,500万円の売り上げとなり、コロナ禍により冷え切った地域経済に対応した事業であった。

担当課	No.	事業名	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額			効果検証 (実施後、事業の概要①で記載されている効果が得られたか、どのような効果があったかなど)	
				交付金充当額	国県補助	一般財源		
商工観光課	6	尾鷲市販路開拓支援補助金	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本市の商業を取り巻く社会的な環境は大きく変化し、地域内だけではなく地域外への更なる販路の拡大や、新たな商品の開発など、地域事業者には製造や販売の改革・変革が必要となっている。このことから、展示会への出店やECサイトの構築、また、パッケージデザインの作成などに要する費用の一部を補助することにより、地域商業・産業の活性化を推進する。 ②事業者の販路開拓支援に係る補助経費 ③補助金 10件×補助上限200千円=2,000千円 ④市内事業者	1,882,200	1,882,200	0	0	申請件数14件、申請額が予算額を超え、締め切り後も数件の問い合わせがあり、事業者の需要にこたえた支援内容であり、地域経済の活性化を図ることができた。
商工観光課	7	尾鷲市プレミアム付商品券事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているなかによる需要の落ち込みに対する対策と市民への経済的支援を両立して行うため、プレミアム付商品券を発行し、市民生活の下支えと地域経済の活性化を促す。 ②商品券(プレミアム分)に係る経費、発行に係る事務経費 ③発行冊数:33,600冊 額面:13,000円/冊 総額:4億3680万円(うちプレミアム分金額1億80万円)プレミアム率:30% ・委託料 商品券プレミアム分100,800千円+事務費15,494千円=116,294千円 ・引換券印刷費、郵送料等 1,125千円 ④市民	87,472,915	81,916,548	0	5,556,367	プレミアム付商品券を発行することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い冷え切った地域経済を市民と共に下支えし、企業経営の安定化や事業継続等の効果を得ることができたものと考察でき、コロナ禍により影響を受けた市民生活の一助となった。71%を販売し99.7%の使用があった。
商工観光課	8	尾鷲観光物産協会補助金	①新型コロナウイルスの影響により観光需要が多様化しており、三密回避のため屋外アクティビティに注目が集まっていることから、世界遺産である熊野古道馬越峠を活用し、馬越峠や天狗倉山等の写真を尾鷲観光物産協会へ提示すること等を条件に飲食又は宿泊クーポンを発行し、市内飲食店や宿泊施設の観光消費を喚起させ地域経済の活性化を図る。 ②クーポンに係る経費、広報・発行に係る経費 ③地域応援クーポン 飲食・宿泊2千円×来訪者630人=1,260千円 1泊2日ツアー(宿泊費6,500円+飲食1千円)×10人×4回=300千円 印刷費、郵送料等:340,738円 人数カウンター購入費:500千円 委託料:ポスターチラシ用ツアー写真撮影60千円×2回=120千円 ・補助金 2,520,738円 ④協同組合尾鷲観光物産協会に加入している事業所	2,351,969	2,351,969	0	0	クーポン券の配布及びツアーの実施により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済を下支えする一助となった。目標の65.4%を配布し、87.3%の使用があった。
商工観光課	9	尾鷲市あんしんみえりア取得推進 応援金	①長期間に及ぶコロナ禍にあっても、市民及び尾鷲市を訪れた人が安心して利用できる市内飲食店や観光関連施設の環境づくりを進めることを目的に、三重県が定める「飲食事業者版みえり安心おもてなし施設認証制度」及び「観光事業者版みえり安心おもてなし施設認証制度」の認証基準を満たした店舗・施設等を対象に応援金を支給し、感染対策の徹底と認証制度取得の促進を図る。 ②応援金及び応援金支給に係る経費 ③申請見込件数 70件 ・応援金 50千円×70件=3,500千円 ・消耗品費、郵送料等 130千円 ④市内に店舗等を有する飲食事業者版又は観光事業者版「あんしんみえりア」認証を受けている事業者	942,817	942,817	0	0	実績として800千円の応援金を交付することができ、コロナ禍により事業に大きな影響を受けた事業者に、効果的に応援金を交付し、事業の継続への一助となるとともに、感染対策の徹底と県認証制度取得への一助となった。
教育総務課	10	尾鷲中学校体育館感染症対策環境整備事業	①尾鷲中学校体育館は生徒だけではなく、学校開校事業でスポーツチームなど多くの一般市民の方々が日々利用している重要な施設である。現在の木製フローリングについては、消毒液の使用や水拭きは床材の劣化につながることや消毒作業が容易ではないため、使用後の消毒作業などより感染症予防対策が可能な長尺弾性塩ビシートを使用した床材に改修し、学校運営や避難所開設の際の感染症対策等の管理が効率よく実施できる施設に環境整備を行う。 ②感染症予防対策に係る設計・監理、工事費 ③改修工事 ・工事請負費33,673,200円 ・設計監理業務委託1,218,800円 ④尾鷲中学校生徒、市民	30,701,000	30,701,000	0	0	老朽化した床を改修することで使用中の安全性も向上し、使用後も容易に拭き掃除等による感染症対策が可能となり、効率よく施設管理をすることができた。
図書館	11	図書除菌機整備事業	①図書館において、図書資料は常に不特定多数の手に触れることから、図書除菌機を設置し、感染防止を図るとともに、利用者が安心できる衛生的な読書環境を確保する。 ②除菌機購入に係る経費 ③図書除菌機一式1,210千円 ④図書館利用者	1,056,000	1,056,000	0	0	図書資料は、常に不特定多数の方の手に触れることから、除菌機を利用することにより、利用者の衛生面での不安を軽減でき、また安全・快適に図書を利用できる環境整備につながった。

(円)

担当課	No.	事業名	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額				効果検証 (実施後、事業の概要①で記載されている効果が得られたか、どのような効果があったかなど)
				実績額	交付金充当額	国県補助	一般財源	
生涯学習課	12	中央公民館講堂感染症対策環境整備事業	①中央公民館講堂は、常設の音響設備が有線マイクであり、会議や講演会等を行う際、マイクの共有使用や会場レイアウトに限られるなど、感染症予防対策に課題がある。このことから、参加者の間隔の確保や飛沫などによる感染リスクの低減を図るため、ワイヤレスマイク等を整備し、安全・安心な環境整備を行う。また、コロナ禍におけるWEB会議や講演会のサテライト会場等に対応するため、マイクシステムを整備し、新たな利用促進を図る。 ②システム購入に係る経費 ③マイクシステム一式8,415千円 ④公民館利用者	8,195,000	8,195,000	0	0	ワイヤレスマイクシステムが整備されたことにより、大人数の会議や、コーラス教室、健康体操教室等の開催、また、オンライン会議と対面型(集合型)の会議を組み合わせたハイブリッド会議を開催することができ、コロナ禍において、利用者の安全・安心な環境整備とともに、新たな利用方法の創出につながった。
水道部	13	水道事業会計繰出	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対する支援策として、水道料金のうち基本料金を全額減免する。 ②基本料金全額減免に係る経費 ③減免対象見込件数:10,000件×3ヶ月 ・繰出金 減免対象金額:11,873,360円×3ヶ月=35,620千円 ④全水道契約者(官公庁等一部を除く)	35,183,350	35,183,350	0	0	水道料金のうち基本料金を減免したことにより、新型コロナウイルス感染症による収入状況に影響が生じた未納者の発生を抑制できた。
商工観光課	14	尾鷲市地域振興券事業 (国の令和4年度予算充当代)	①尾鷲市地域振興券を発行し、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、物価高騰や原油価格高騰などにより大きな影響を受けた市民生活を応援するとともに、落ち込んだ市内の消費拡大を促し地域経済の活性化を図ることを目的とする。 ②地域振興券発行に係る事務経費、業務委託料 ③発行冊数:16,600冊 額面:7,000円/冊 総額:1億1,620万円 配布:1人当たり1冊 配布方法:世帯主あてに人数分を同封し郵送 券種:5,500円分の地域応援券、1,500円分の共通券 券額:500円/枚 印刷費・消耗品費等:304万円 通信運搬費:397万1千円 総事業費123,211千円のうち、No.14への充当額は81,697千円 ④市民	81,697,000	81,697,000	0	0	地域振興券を発行することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い冷え切った地域経済を市民と共に下支えし、企業経営の安定化や事業継続等の効果を得ることができたものと考察でき、コロナ禍により影響を受けた市民生活の一助となった。 98.5%の使用があった。
商工観光課	15	尾鷲市地域振興券事業 (国の令和3年度補正予算充当代)	①尾鷲市地域振興券を発行し、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、物価高騰や原油価格高騰などにより大きな影響を受けた市民生活を応援するとともに、落ち込んだ市内の消費拡大を促し地域経済の活性化を図ることを目的とする。 ②地域振興券発行に係る事務経費、業務委託料 ③発行冊数:16,600冊 額面:7,000円/冊 総額:1億1,620万円 配布:1人当たり1冊 配布方法:世帯主あてに人数分を同封し郵送 券種:5,500円分の地域応援券、1,500円分の共通券 券額:500円/枚 印刷費・消耗品費等:304万円 通信運搬費:397万1千円 総事業費123,211千円のうち、No.15への充当額は41,514千円 ④市民	39,300,877	27,232,000	0	12,068,877	地域振興券を発行することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い冷え切った地域経済を市民と共に下支えし、企業経営の安定化や事業継続等の効果を得ることができたものと考察でき、コロナ禍により影響を受けた市民生活の一助となった。 98.5%の使用があった。
商工観光課	16	尾鷲市地域振興券事業(重点交付金分)	①尾鷲市地域振興券を発行し、コロナ禍におけるエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民生活を応援するとともに、落ち込んだ市内の消費拡大を促し地域経済の活性化を図ることを目的とする。 ②地域振興券発行に係る事務経費、業務委託料 ③発行冊数:16,500冊 額面:5,000円/冊 総額:8,250万円 配布:1人当たり1冊 配布方法:世帯主あてに人数分を同封し郵送 券種:4,000円分の地域応援券、1,000円分の共通券 券額:500円/枚 印刷費・消耗品費等:290万5千円 通信運搬費:385万4千円 総事業費89,259千円 ④市民	86,896,224	71,885,000	0	15,011,224	地域振興券を発行することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い冷え切った地域経済を市民と共に下支えし、企業経営の安定化や事業継続等の効果を得ることができたものと考察でき、コロナ禍により影響を受けた市民生活の一助となった。 98.5%の使用があった。
教育総務課	17	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学習保障をするための取り組みを行うため、消毒液、教材、換気用備品等を購入する。 ②消毒液、教材、換気用備品等を購入する費用 ③消毒液、教材、換気用備品等大規模校135万円×2校+小規模校90万円×5校合計720万円 ④市内小中学校	6,877,849	3,439,849	3,438,000	0	各学校が必要に応じて消毒液、教材等を購入し、感染症対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習保障をするための取り組みを行うことができた。
<b>合計</b>				<b>398,356,468</b>	<b>362,282,000</b>	<b>3,438,000</b>	<b>32,636,468</b>	